

令和6年2月8日 00677号

北見武道通信

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【事務局情報】 伝統文化と真善美!



毎年1月末に予定される「日本武道館全日本弓道連盟北海道地域社会武道指導者研修会」を開催するにあたり何カ月も前から準備をしてきた主管の北見市弓道会は、冬の開催とあって天候の行方が気になります。心配されていた空模様も、吹雪くこともなく無事開催できたと胸を撫でおおります。北見のオホーツクブルーとはいかなかったものの、降った雪景色がかえって美しいコントラストを創りだし美しい武道館の姿を見せてくれました。北見市弓道会が準備したプログラムには「礼記— 射義 — 謝は進退周還必ず礼に中り、内志正しく、外体直くして、然る後に弓矢を持つこと審固なり。弓矢を持つこと審固にして、然る後に以って中ると言うべし。これ以って徳育を觀るべし。射は仁の道なり。射は正しきを己に求む。己正しくして而して後発す。

発して中らざるときは、則ち己に勝つ者を怨みず。反ってこれを己に求むるのみ。」とありました。弓道は「真善美」の追求と聞きますが、誠に美しい所作の継続を感じます。(佐藤)

連載 中国「老子」の思想 十九章 作為を捨てよ才能などというものを重視しさえしなければ*、競争はなくなり、人民は安らかに生きられる。道徳などというものを強制しなければ、心を偽る必要がなくなり、人民は自然の情愛に立ち返る。商工業などというものを廃しさえすれば、欲望をそそるものがなくなり、人民は盗みをしなくなる。才能、道徳、商工業の三者は、いずれも作為であって自然に反する。すべて取るに足りない。治世の根本は、人民の本性を回復することにある。すなわち、無心にさせ、私欲をなくさせることである。原文:絶聖棄智、民利百倍。絶仁棄義、民復孝慈。絶巧棄利、盜賊無有。此三者、以爲文不足。故令有所屬。見素抱樸、少私寡欲。〈才能などというものを…〉原文「絶聖棄智」。ここでの「聖」とは、傑出した智のことで、聖人の意味ではない。絶聖棄智 いっさいの作為をすてる、それは、「絶つ」(原文)ということばで表現されるきわめて意志的な行為であった。この意志的な行為の主体となるのは、有道者、エリートに限られる。一般人民は、その結果、「私が少なく欲が寡く」(原文)なり、自然に本性を回復するというのである。二十章に続く